

TOMIMATSU

HIKARI

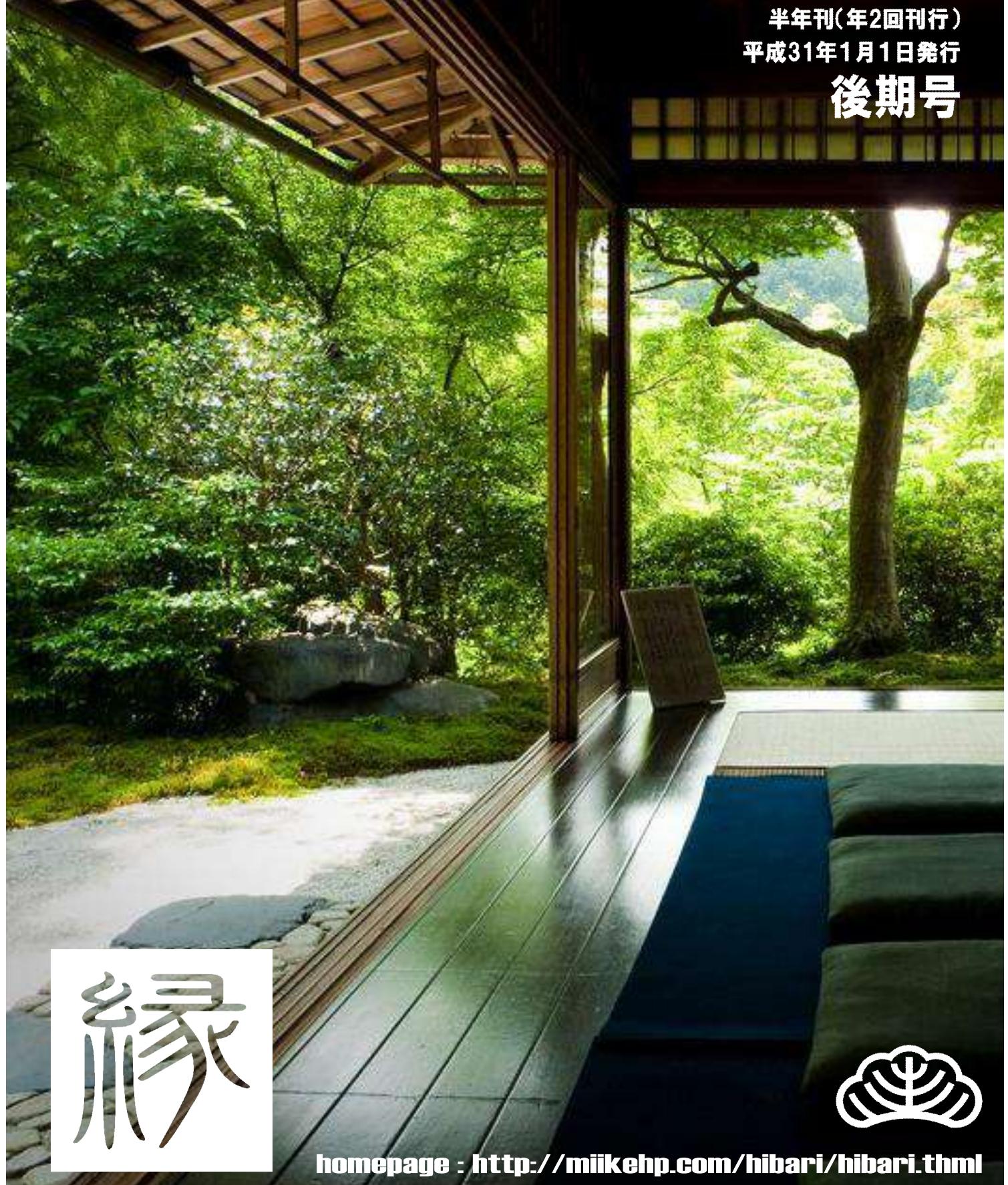
HALFYEARLY PUBLIC INFORMATION

医療法人 富松記念会 広報誌

半年刊(年2回刊行)

平成31年1月1日発行

後期号



homepage : <http://miikehp.com/hibari/hibari.html>

新年のご挨拶

理事長・院長 富松 愈

明けましておめでとうございます。

地域の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年も各地で豪雨、豪雪、台風、地震など自然災害が相次ぎ、多くの方々が被害に見舞われました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々には心よりお見舞いを申し上げ、一日も早いご回復と復興を願っております。

昨年は診療報酬、介護報酬の同時改定が行われるとともに、障害福祉サービス等の改定もあり、第7次医療計画、第7次介護保険事業計画、第5次障害福祉計画が策定されました。本年は、これまでの施策がさらに改められると思われ、我々医療、介護、福祉の現場で大きな節目となる年です。

また働き方改革、消費税問題、地域医療構想が推進されます。現在わが国の人口構造が急速に変わっていることで、超高齢化社会、人口減少社会、地域多様化時代の社会保障施策等への対応を急がねばなりません。経済、社会、保障、財政、環境、生活といったあらゆるものが、速いスピードで変わっていく現代、多くの課題が山積しているなかで現場の実態をふまえ、しっかりと主張していかなければならぬと思います。

本年は4月に天皇陛下が退位され5月1日より新元号となります。新年が皆様にとりまして、希望に満ちた明るい年となることを祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

法人理念

優

優しさをモットーとし、
質の高い医療・介護・福祉サービスを
提供します。

明

皆様方に対し明るく親切に
対応し、あなたの気持ちを
尊重します。

美

緑豊かな三池の地のもとに、
環境に配慮した心の安らぎが
図れるように努めます。

新年のご挨拶

副理事長 富松 健太郎

新年明けましておめでとうございます。皆様にとりまして、本年が良い年になることを御祈念申し上げます。

我が国日本では、昨今の気候変動、近年の大災害等により甚大な被害を受けております。被災された皆様に、心よりお悔やみとお見舞い申し上げます。

歴史を振り返りますと、同規模の台風等では、昔ならば、さらなる甚大な被害を受けたように思われます。復興への多大なる尽力とともに日本国インフラストラクチャーの良い面に関しても、新聞報道等でもう少し取り上げて頂きたいと思います。

また、1億人超の人口を有する国において、これだけの長寿社会を達成している事実についても諸外国に鑑みて、我が国の医療・介護における、医療・介護関係者諸氏の歴史的な努力を、もう少しぶかり取り上げて称えて頂きたいなあという厚顔無恥な考えを述べまして、挨拶とさせて頂きます。

病院相談役・医局長 今里 勝次郎

新年お目出度うございます。良い年を御迎の事とお慶び申し上げます。

さて、私事で恐縮でございますが、私は昨年11月をもって、80才になりました。80才になったら、諸々悟り切らねばならない所ですが、未だ、飲みたい、食いたい、何したいと煩惱ばかりが多くて精神年齢は10代か20代のまゝのようです。

日本人男性の平均寿命年齢は81才ですので、そろそろ私も命とか過去などつらつら考えるようになりました。そこで、以前読んだ「いのちの言葉」という文庫本を取り出し、賢人はいかにこのことに名言を遺してくれたかを拾い出してみました。

1. 命というものは、はかないからこそ尊く厳かに美しいものだ。 トマス・マン（作家）

2. 命を運ぶと書いて運命。つまり運命とは、定められて仕方なくたどるものではない。自分の命を、自分の力で運んでこそ、運命といえるのではないか。 大谷 徹哉（僧侶）

3. 肝心な点は感動すること、愛すること、望むこと、身震いすること。 ロダン（彫刻家）

4. 人間生まれて、生きて、死ぬ。これだけで大したもんだ。

（もう一つ）すべて、お袋から始まった。 北野武（タレント）

5. はだかにて生まれてきたに、何不足（至言） 小林一茶（俳人）

6. 最後に、「一代かぎりの知恵」を紹介します。科学技術なんか、先人の業績の上に積み重ねがきくから、どんどん進歩しますけど、男女関係だけは一代かぎりの知恵で、親の知恵をそのまま子に伝えていけない。子供はまた一から体験して子供なりに覚えていく。だから誤りも多く、何年たっても進歩しないが、そこがまた人間的で素晴らしいともいえるんですね。

渡辺淳一（作家）、吾妻徳穂（舞踊家）との対談より
やゝ長くなりましたが、皆様にとって、今年も良い年でありますよう願っております。

新年のご挨拶

院長代行 橋爪 祐二

新年あけましておめでとうございます。

平成の時代がついに幕を下ろし、5月1日からは新たな年号へと変わります。昭和の時代が戦争と敗戦、そして戦後からの復興と総括することができますが、平成の時代はどのように表現すればいいか考えさせられます。日本の場合はバブル景気とバブル景気の崩壊、バブル景気崩壊からの脱却？世界的にみると、グローバリズムと反グローバリズムとの葛藤・対立？IT革命とAI革命？現代の世界が混沌としているためなかなかうまい表現ができません。日本国内は超高齢超少子化の時代となり、農業や中小企業なども後継者不足に悩んでいます。東南アジアから移民を受けなければいけない状況ですが、東南アジアから日本に移住する人たちが日本語や日本文化にすぐになじんでもらえるか疑問です。悲観的な考え方かもしれませんのが新しい時代は前途多難な時代になるのではと危惧しています。

精神科副院長 鹿子島 裕士

新年あけましておめでとうございます。平成も30年で終わりとなりました。と言っても現時点では新年の元号が何になるのかわかりません。平成は終わりと言うものの、新元号に変わるのは5月1日との事で、それまでは平成31年ということのようです。何だか新年のご挨拶も書きづらい微妙な年明けです。私は昭和から平成への改元と今回の改元と二度の改元を経験することになりました。後の世代からは明治・大正・昭和を生きた明治生まれの世代と同じように見られるんだろうな、などと想像しております。元号ネタで文字数が埋まってしまいました。今年はそういう年になるのかもしれませんね。

介護老人保健施設「さんぽ」施設長 草場 卓

明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新春を迎えたことと、お慶び申し上げます。また、日頃から温かいご支援ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

平成の年号も旧年で終わりを告げますが、気持ち新たに皆様と一緒に平和で健やかな一年でありますよう、祈っております。また、医療・介護を取巻く現状はさらに厳しくなりつつありますが、さらに職員一同自らを鼓舞し、皆様のお役に立てますよう、努力していく所存です。本年も何卒宜しくお願ひ致します。

精神科医 野母 晋平

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は自らの不注意で鎖骨を骨折、入院したりと大変ご心配、ご迷惑をおかけ致しました。その節は多くの暖かいお言葉を頂き、とても励みとなりました。

この場を借りまして御礼申し上げます。

さて、今年の干支は己亥となります。己亥の年は次のステップに向けて準備をしたり、内面の充実を図ると良いと言われています。

また、亥には無病息災の意味もあるようです。折りしも年号が変わり、新しい時代が始まろうとしています。皆様が健康で充実した心持ちで新しい時代を迎えて頂けるよう、少しでもお手伝いできればと思っております。本年もよろしくお願ひ致します。

精神科医 松山 歌夜子

新年あけましておめでとうございます。三池病院に勤務して3年目の新年を迎える事ができ、まずは皆様に感謝申し上げます。

これから超高齢化社会を迎えるこの国において、2025年問題について何が課題なのか、どう解決していくのかを真剣に考えていかねばなりません。我が故郷大牟田市の人口は昭和34年の21万人をピークに減少を続け、現在11万6千人、2025年には10万人と予測されています。2025年に向けて医療行政が取り組む「地域包括ケアシステム」は従来の入院と外来を中心とした医療体制だけでなく、在宅医療も重要な医療行為となります。地域単位で医療・介護との連携が強まることでしょう。こんな時代だからこそ、三池病院のスタッフの皆様と力を合わせ、親切と情熱をモットーに、地域に根差した医療と活動を提供していきたいと思います。昨年「地方再生モデル都市」として大牟田市が選定されました。新栄町駅前地区市街地再開発事業については、難航している面もあるようですが、地域の再活性化に向けた明るい話題となることを期待しています。本年も宜しくお願ひ申し上げます。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

FEATURE

小文化祭

毎年恒例となっております、秋の小文化祭をOT室にて行ないました。今年も創作グループをはじめとする各グループにて制作した作品の展示を中心に、喫茶コーナー、ゲームコーナーを設置いたしました。喫茶では季節のモンブランケーキを提供し、午前午後と合わせると100名以上の方が足を運ばれました。ハロウィンで飾り付けられた会場のなか、賑わいをみせていましたように感じます。会場ではアロマの香りも漂わせ、癒しの空間となったのではないでしょうか。ご家族様のご来場もあり、楽しそうにお話をされている姿がとても印象に残りました。

患者様をはじめ多くの方のご協力のもと無事開催することができました。ご来場頂き、まことにありがとうございました。



FEATURE 2

デイケア活動報告～就労支援について～

デイケアは、様々な悩みを持つ皆さんを利用されており、それぞれが目標を持ってスタッフと共に多様な活動に取り組んでいます。

その中で今回は、就労支援についてご紹介します。「生きづらさを抱えているけども、いつかは働きたい。でも自信がない。」「働きたいけど、どうしたらいいか分からない。」「病気を理解してもらえるところで働きたい。」等、様々な相談を受けることがあります。そういった思いを個別にお聞きして、スタッフと共にどのようなやり方で一緒に頑張っていくのかを考えます。つまり、本人の思いに寄り添って、本人にとって必要な支援を個別に行っていくということです。

活動を通して就労への準備が整ったら、様々な就労支援事業所への見学や紹介なども行なっています。例えば、一般企業での就労が難しい段階にある障がいのある方が、雇用契約を結んだ上で一定の支援がある環境で、最低賃金以上を得ながら働く就労継続支援事業所A型(全国平均1ヶ月賃金70,720円※平成28年度)、一般企業やA型での就労が困難な方が、雇用契約を結ばずに支援のある環境で、軽作業などを行つて作業分の工賃を得ることができる就労継続支援事業所B型(全国平均1ヶ月賃金15,295円※平成28年度)、一般企業での就労(障害者雇用を含む)を目指す就労移行支援事業所などが挙げられます。

働いて賃金を得ることで、好きなものを買って好きな事をして生きる。やがて自分自身の自信にも繋がり、より豊な人生を送ることができるのでないでしょうか。



FEATURE 3

サンフラワー行事報告

サンフラワーには、男女20名の入居者が共同生活されています。年齢層も20歳代から80歳代迄、幅広いです。年間を通して定期的に施設内行事を企画していますが、各個人の希望内容も多岐に渡ります。各個人のニーズに合わせ、皆さんのが楽しめる行事を行なっています。

8月はヤマメ・ニジマス釣りに山鹿へ行きました。ニジマスは簡単に釣れましたが、ヤマメを釣るのは難しく、皆さん悪戦苦闘していました。釣った後は、ヤマメ・ニジマス料理を堪能しました。

9月は素麺流しを行ないました。薬味は、みょうが・生姜・ごま・小ねぎを揃え、焼きなすを作ったりして、皆さん動けなくなる位たらふく食べられました。

10月はバーベキューを開催し、秋刀魚・牛肉・野菜を焼き、満腹になる迄、食べつくしました。「美味しかった。」との感想が聞かれました。

今後も、入居者の方が施設内でメリハリのある充実した生活をして頂ける様、皆さんの意見を取り入れながら、様々な行事を企画して行きたいと思います。





富松宗佳講師（当該法人理事長夫人）主催による 法人もみじの会



ご利用者からの希望が多く、恒例の茶花・お茶会を11月28日(水)13時30分～15時に行いました！！数日前から「まだかしらお茶会は…」「私も参加したい」等々楽しみにお待ちになるご利用者の方々は会話が弾みます。当日はちょっとだけ緊張した雰囲気漂う中「着物姿はやっぱりいいですね」「落ち着きます」「懐かしいお味です」「お花大好き！」「珍しいね」と気分も和らぎ笑顔満載で楽しいひとときを過ごされました。次回もお楽しみに！



さんぽ秋祭り

平成30年10月20日(土) 10時30分～15時、さんぽ秋祭りを開催しました。今年も地域ボランティアの太鼓衆様・琉球舞団黒琉会様・特別ゲストに大牟田市のゆるキャラ「ジャー坊」の皆様方に出演して頂きました。お腹に響く迫力のある太鼓の音色に会場の皆様は釘づけ！軽快で勢いのある舞に大きな拍手が鳴り止みませんでした。又、ジャー坊の一つ一つの仕草を真似したり、直接触れられたりと「可愛か！あれが今の大牟田の名物たいね～」と、職員に尋ねられたり、ご家族の方と笑顔でジャー坊体操を躍ったりと楽しい時間でした。また感極まり涙ぐまれる方をおられました。来場して頂いた皆様、さんぽ自慢の各種露店は、お楽しみ頂けたでしょうか？ご利用者、ご家族の皆様、地域の皆様と共に、さんぽ秋祭りを無事終えることが出来たことに職員一同感謝しております。

来年も今年以上の交流が出来る様に企画いたします。お楽しみに！！！



